

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表

No.	評価シート番号/事業名	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
1	②-1. 大津市景観計画の改定	都市計画課	大津市景観計画の改定を行う。重点区域においては、特に歴史的なまちなみ景観の保全・形成を目指し、建築物などへの新築・増築などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定する。	・景観審議会へ景観計画の改定諮問 ・景観計画改定専門部会の設置及び開催（2回） ・計画計画改定に伴う基礎調査実施	第2次大津市景観計画の骨子、素案原案完成。	第2次大津市景観計画原案の作成及び大津市景観計画ガイドライン素案（公共サイン編を除く）を作成。	・計画案、大津市景観法施行条例改正案及びガイドライン案（公共サイン編を含む）の作成を進め、パブリックコメントなどの必要な手続きを経て、年度内に計画及びガイドラインの策定を行うとともに施行条例を改正する。 ・令和7年度の4月～10月に周知を行い、11月より条例及び景観計画を施行予定。						
2	②-2. 景観保全型広告整備地区の新規設定	都市計画課	歴史的まちなみ景観の保全・形成を目指し、屋外広告物の新設などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定するため、景観保全型広告整備地区を新たに設定する。	景観保全型広告整備地区の設定に向けて地元協議	景観重点地区指定に向けた候補地の現地調査及び地元説明の実施。	景観重点地区指定に向けた地元説明とワークショップを実施。	大津市歴史的風致維持向上計画に指定されている重点区域において、屋外広告物の調査に向けた、検討を実施。						
3	③-1. 歴史的建造物の資料館などとしての活用 ★坂本重点区域	観光振興課	延暦寺の里坊であった旧竹林院や山門公人の住居であった旧岡本家住宅主屋ほかといった歴史的建造物を活用し、坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点などとして活用する。なお、管理運営については指定管理者による。	・公人屋敷、来館者2,247人 ・旧竹林院、来館者26,817人	・公人屋敷、来館者2,420人 ・旧竹林院、来館者37,014人	・公人屋敷、来館者 2,461人 坂本銭座の写真、パネル展示、坂本今昔写真展等 ・旧竹林院、来館者 47,212人 セッコク展、近江の風景スケッチ展、等	・公人屋敷 来館者数：1,619人(4月～11月) 坂本銭の写真・パネル展示、坂本今昔写真展等 ・旧竹林院 来園者数：46,786人(4月～11月) 絵画展・木芸展・陶芸展等						
4	③-2. 歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備 ★堅田重点区域 ★坂本重点区域 ★大津百町重点区域	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	区域内に存在する歴史的建造物について、所有者の承諾のもと調査を実施し、歴史的風致形成建造物への指定や保存整備（またはその経費の一部の補助）を行う。	歴史的風致形成建造物1件指定。	歴史的風致形成建造物指定候補物件所有者への意向調査。1件の保存修理。	・歴史的風致形成建造物の指定候補物件の所有者に対し、指定に係る説明を順次実施。 ・令和6年2月15日開催の第13大津市歴史的風致維持向上協議会において、6件の意見を聴取。	・歴史的風致形成建造物3件指定。 ・大津市歴史的風致形成建造物修理補助制度を新設し、2件の修理を実施。						
5	③-3. 町家の利活用の支援 ★大津百町重点区域	〔都市魅力創造課〕 都市計画課	空き町家などを利活用するためのまちの活性化に関する調査や、その担い手を育成することを目的とする勉強会の開催などを行う。町家の魅力を広く周知啓発するため、町家を活用したイベント「3月8日は町家の日in大津」を開催する。	大津町家情報館のホームページ改修。	「町家の日」3/4～3/12開催。イベント協力17店舗	「町家の日」3/2～3/10開催。町家でのワークショップやツアーなど30のイベントを実施。	・3月8日は町家の日in大津 令和7年は3/8～3/16に開催される町家普及イベント「町家の日」。平成28年度に京都から始まり、大津では令和2年から取り組み、コロナでの中止を経て、4回目の開催。大津百町エリアの各町家が趣向を凝らして企画した物販、体験、見学など26のイベントを実施。 ・町家の悉皆調査 大津百町エリア部会が大津百町エリアにある町家の悉皆調査を実施。						
6	③-4. まちなみ修景整備への補助 ★堅田重点区域 ★坂本重点区域	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	歴史的まちなみの景観を保全及び形成するため、景観に配慮した建造物の外観の整備を行う者に対して、その経費の一部を補助する。	堅田重点区域において修景整備の協議1件	堅田重点地区で1件、坂本重点区域で1件の修景補助を実施。	堅田重点地区で1件、坂本重点区域で1件の修景補助を実施。	・坂本重点区域において1件修景事業（塀のやり替え）を実施中。 ・坂本重点区域内で補助金の活用意向調査を実施。 ・堅田重点区域内で補助金の活用意向調査を実施予定。						
7	③-5. 道路の美装化 ★堅田重点区域 ★大津百町重点区域	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 〔道路河川管理課〕 都市計画課 水道ガス改良課	【市道幹1012号線、市道北2145号線ほか】歴史的なまちなみと調和した修景舗装などによる空間整備を行う。 【市道中2524号線、市道中3315線】歴史的まちなみや大津祭の曳山及び長等神社の参道と調和した修景舗装などによる空間整備を行う。	令和4年度からの実施に向けて予算協議	堅田重点区域で修景舗装140mを実施。	大津百町重点区域で、水道ガス改良工事にともなう美装化を予定。地元説明を実施。	・大津百町重点区域で道路美装化を実施する商店街に工事の概要説明を実施。 ・道路の美装化に先立ち、ライフライン（水道・ガス）の布設替工事の発注を行い、契約を締結。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表

No.	事業名	担当課	事業概要	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度
8	③-6. 祭行事の開催費用の補助 ★坂本重点区域 ★大津百町重点区域	観光振興課	市内各地で行われる多くの祭行事は本市の歴史的観光資源である。そのなかでも特に本市の観光振興に寄与すると思われる祭行事の開催に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。	大津三大祭の開催経費補助	大津三大祭の開催経費補助	大津三大祭の開催経費補助 ・大津祭 感染症流行前と同水準で実施。 ・日吉山王祭 感染症流行前と同水準で実施。 ・船幸祭 前年同様通常通りで実施。	大津三大祭の開催経費補助 ・大津祭 感染症流行前と同水準で曳山巡行を実施。 ・日吉山王祭 感染症流行前と同水準で神事や神輿渡御等を実施。 ・船幸祭 前年に引き続き船渡御、奉納花火を実施。						
9	③-7. 歴史的観光資源を活用した事業への補助	観光振興課	祭行事のパブリックビューイングの開催など、市内に点在する歴史的観光資源を活用した事業に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。	7件の事業に補助金を交付	6件の事業に補助金を交付	5件の事業に補助金を交付 ・スマートインター開通にむけた情報発信整備事業 ・紫式部の古硯を活かしたプロモーション・集客事業 ・坂本歴史街道 ～どうする家康、戦国の坂本を歩く～ ・堅田のまち 魅力再発見！ ・湖都十社寺湖信会 春期誘客事業 びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）	4件の事業に補助金を交付 ・石山寺と『源氏供養』PR事業 ・瀬田川流域観光のパンフレット、ポスター類の増刷 ・坂本歴史街道 ～石積みのまち坂本を歩く～ ・歴史ある食文化を活用した誘客事業（大津のうなぎブランディング事業）						
10	③-8. 地域の歴史資料館の運営の補助 ★堅田重点区域 ★大津百町重点区域	観光振興課	堅田の歴史について展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。	・湖族の郷資料館、来館者1,397人 ・大津祭曳山展示館、来館者20,290人	・湖族の郷資料館、来館者1,124人 ・大津祭曳山展示館、来館者29,033人	・湖族の郷資料館、来館者1,148人 ・大津祭曳山展示館、来館者27,297人 大津祭関連グッズの販売、ちま吉の着ぐるみ展示、大津まちなか大学協力、ちま吉仕様自動販売機設置	・湖族の郷資料館 来館者数：885人（4月～11月） ・大津祭曳山展示館 来館者数：4,645人（4月～11月） 大津祭関連グッズの販売、ちま吉の着ぐるみ展示、大津まちなか大学協力、ちま吉仕様自動販売機設置						
11	③-9. 〔副読本、文化遺産マップなどの作成〕 地域固有の歴史・文化遺産の発信	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。	2件の副読本及び文化遺産マップを製本、印刷	3件の副読本及び文化遺産マップを製本、印刷	1団体から応募があり、「穴太 松ノ馬場 歴史散歩イラストマップ」3,000部増刷。団体の活動に利用するとともに、坂本観光案内所や大津駅観光案内所、旧竹林院など多数の場所で配布されている。	3団体から応募があり、各団体3,000部増刷。増刷したマップは、まちあるきガイドや学校の地域学習などで活用いただく。マップの該当地区の施設や行政機関、教育機関など広く配布する。 ・下阪本まちさんぽ ・びわ湖堅田湖族の郷 ・比良山麓の石の文化MAP						
12	③-10. 東海道統一案内看板の普及啓発 ★大津百町重点区域	都市計画課	現在、本市内の東海道沿道の一部地域では、東海道であることを表示する看板を設置している。しかし、デザインが統一されていないなどの理由でわかりにくいことから、東海道であることを東海道沿道の地域住民や来訪者にわかりやすく伝えるため、草津市役所と連携し、「東海道統一案内看板ロゴマーク」が描かれた案内看板の設置を東海道沿道の地域住民などに普及啓発する。	大津市内で13基、草津市内で1基の東海道案内看板を設置	大津市内2基、草津市内で3基、湖南市で2基の東海道案内看板を設置	・草津市内で2基の東海道案内板を設置。 ・景観づくりチャレンジ隊、参加者60名、3基の看板を作製。	・大津市内1基、草津市内で1基の東海道案内看板を設置予定。 ・景観への理解を得るために募集した景観づくりチャレンジ隊の参加者は63名、2基の看板を作製。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表

No.	事業名	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
13	③-11. 地域の人材活躍の支援 ★堅田重点区域 ★坂本重点区域 ★大津百町重点区域	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流を促す交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。	・堅田、坂本、大津百町の3重点区域で「歴まち講座入門編」を3回開催。参加者51人 ・関係団体の交流会開催。参加9団体、15人	堅田、坂本、大津百町の3重点区域で「歴まち講座上級編」を3回開催。参加63人	・大津市歴史まちづくりフォーラム～東海道と大津宿の歴史を生かしたまちづくり～、参加者80名。 ・堅田、坂本、大津百町の3重点区域で国土交通省などと連携して『Pokemon GO』のゲーム上に歴史的建造物を紹介するポケストップ48か所を設置、歴まちルートを6ルート設定。 ・令和6年度にかけて、坂本重点区域、堅田重点区域を中心に、次世代の地域住民へ歴史文化を継承する目的で、歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」を30本作成。	・令和4年度から令和6年度にかけて作成した本市の歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」が60本完成し、特設サイトにより公開。チラシや市の広報誌、びわ湖放送でのCM放送により動画の周知を図り、4団体が動画を活用。 ・3重点区域で地元のイベントと連携し、歴史的風致に関するパネル展を実施。 大津百町（旧大津公会堂） 来場者43名（びわ湖大花火大会開催時実施） 坂本（坂本支所） 来場者約800名（坂本学区文化祭開催時実施） 堅田（堅田コミュニティセンター） 来場者792名（堅田学区文化祭開催時実施） ・立命館大学のまちづくり演習に、講師として大津百町エリア部会が参加。						
14	③-12. 大津まちなか大学の開催 ★大津百町重点区域	〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	まちづくりの中核を担う人材育成を目的に大津まちなか大学を開設している。同大学には、大津百町の魅力を伝え、発信できる人材の育成を目的とした、大津百町エリア部会による「歴まちガイド育成学部」と、大津祭を学び、体験することを通じて先人の知恵と気質を継承する人材の育成を目的とした、特定非営利活動法人大津祭曳山連盟による「大津祭学部」があり、それらの学部でまち歩き講座やワークショップの開催などを行う。	・大津祭学部 受講生24人、講座10回 ・おもてなし学部受講生個人7人、1団体2人、開催6回。	・大津祭学部 受講生28人、講座11回。 ・おもてなし学部受講生42人、開催2回。	・大津祭学部は34名の参加があり、11回の講義、フィールドワークを実施し、33名卒業。 ・おもてなし学部を改め、今年から歴まちガイド育成学部を開講した。17名の参加があり、5回の講義とフィールドワークを開催し、15名卒業。	・大津祭学部は20名の参加があり、11回の講義、フィールドワークを実施し、20名が卒業した。 ・歴まちガイド育成学部は今年から大津百町エリア部会が主催として開講した。11名の参加があり、5回の講義とフィールドワークを開催し、11名が卒業予定。卒業した受講生はボランティアガイドや個人プロガイドとして活躍される予定。						
15	③-13. 大津人実践講座の開催	生涯学習課	市民を対象に、地域の歴史や福祉など複数あるテーマのうちから、テーマを1つ取り上げ、テーマにあった地域づくりに取り組んでいる団体の活動などについて学ぶ機会を設けることで、地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人（大津人）を育てる。	受講生19人、講座7回。	受講生25人、講座8回。	・基礎講座（5月と7月）と実践講座（10月から12月）を実施。 ・基礎講座は2回の開催で受講生195人 ・実践講座は地域住民や龍谷大学の学生の協力を得ながら、藤尾地区をフィールドに4回開催、受講生15人、藤尾学区住民5人、学生10人。	・基礎講座（6月と8月）と実践講座（12月から1月）を実施。 ・基礎講座は2回の開催で受講者154人 ・実践講座は瀬田北学区をフィールドに計3回開催中で受講者27人、学生17人。 ・実践講座においては、「まちを見る目を養おう」、「まちの課題を解決する目を養おう」をテーマとして、グループディスカッションを行いながら地域課題を解決するための様々なアイデアを発表してもらう予定。						
16	③-14. 観光施設の維持管理 ★堅田重点区域	観光振興課	堅田重点区域への主な動線上にある堅田観光駐車場（東洋紡前、湖族の郷資料館前）の維持管理を行う。	堅田観光駐車場2か所	堅田観光駐車場2か所	堅田観光駐車場2か所	堅田観光駐車場2か所						
17	③-15. 公共空間の活用 ★大津百町重点区域	〔都市魅力づくり推進課〕 都市魅力創造課	JR大津駅から大津百町区域への主要な動線となる市道幹1037号線において、歩きやすい歩行者空間の整備を行うことに加えて、オープンモールなどのイベントを開催することにより、にぎわいを創出する。	イベントエリア、利用日数6日	イベントエリア、利用団体4団体、利用日数29日	株式会社まちづくり大津と連携し、大津駅前広場において、利活用促進事業を実施。5日間、14店舗の出店。	株式会社まちづくり大津と連携し、イベント等を成功させるための実践的なセミナーを開催し、出店者やイベントの企画・運営者の発掘、育成実施。延べ41日間、17団体によりキッチンカーの出店やマルシェ、音楽ライブ、ビアガーデン等を実施。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表

No.	事業名	担当課	事業概要	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度
18	③-16. 道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線） ★坂本重点区域	道路建設課	山王祭の主要ルートであり、ＪＲや京阪電車の駅から坂本区域への主要な動線となる都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線の拡幅とそれに伴う無電柱化、修景整備を行う。	用地買収7件 側溝工事7件	用地買収4件 側溝工事6件	・事業期間を令和6年度までから令和9年度までに変更。 ・用地買収5件 ・側溝工事2件 ・仮舗装7件	用地買収が完了した箇所について順次、拡幅整備を行っている。 用地買収　1件 側溝工事　2件 仮舗装　1件						
19	③-17. 道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線） ★堅田重点区域	道路建設課	主要幹線道路から堅田重点区域への主な動線となる都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の拡幅とそれに伴う修景整備を行う。	用地測量2件 補償調査1件	補償調査1件	用地買収1件	用地買収が完了した箇所について順次、拡幅整備を行っている。 ・側溝工事　1件 ・仮舗装　1件 ※事業認可期間が令和6年度までとなっているが事業が完了していない。今後は滋賀県と認可期間の延伸について協議を行う。						
20	④-1. 未指定文化財の調査	文化財保護課	市内に残る未指定文化財について、所有者の承諾のもと、学識経験者などの指導を得ながら調査を実施し、文化財としての指定や登録などの保護措置や報告書の作成などに努める。	市指定文化財候補調査3件	市指定文化財候補調査5件、民俗文化財調査2件	来年から祭礼運営の在り方が変容する和邇祭（5月開催）の現地調査を実施。	・民俗文化財調査として、5月に開催された和邇祭の現地調査（聞き取り、写真撮影等）を専門家とともに実施。 ・和邇祭関連文書調査や神輿の実測調査を実施し、報告書作成に向けて調査を継続。						
21	④-2. 文化財保存修理などへの補助	文化財保護課	「大津市文化財保護条例」などに基づき、市内に所在する国・県・市指定文化財の修理及び管理に要する経費に対し補助金を交付する。	国指定9件 県指定1件 市指定3件 の修理等補助 国指定31件 県指定11件 市指定3件 の管理補助	国指定12件 県指定1件 市指定5件 の修理等補助 国指定30件 県指定10件 市指定4件 の管理補助	国指定9件 県指定2件 市指定8件 の修理等補助 国指定31件 県指定11件 市指定4件 の管理補助	国指定10件 県指定1件 の修理等補助を実施中。 国指定31件 県指定9件 市指定4件 の管理補助を実施中。						
22	④-3. 大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助 ★坂本重点区域	文化財保護課	重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観を維持し向上させるため、歴史的建造物の保存修理事業または歴史的建造物以外の建築に関する修景事業を行う事業者に対して、修理または修景の補助金を交付する。	1件の修理補助	1件の修理補助	2件の修理事業と2件の修景事業を実施。	2件の修理事業と2件の修景事業を実施中。						
23	④-4. 文化観光振興などへの助成	〔観光振興課〕 文化財保護課	「大津市文化財保護条例」などに基づき、必要に応じて学識経験者の指導を得ながら、有形・無形民俗文化財保存修理事業への補助を行う。	2件に補助金を交付	3件に補助金を交付	大津祭曳山保存修理事業8件に補助金を交付	国指定無形民俗文化財保存修理事業1件、市指定有形・無形民俗文化財保存修理事業8件実施（実施中含む）。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表

No.	事業名	担当課	事業概要	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度
24	④-5. 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	文化財保護課	発掘調査の成果の展示や埋蔵文化財に関連する講座を開催する。	・展示会4回、参加者843人 ・講座9回、参加者242人 ・現地見学会1回、参加者16人	・展示4回、観覧者1,431人、 ・講座8回、参加者184人、 ・現地見学会1回、参加者23人	・特別企画展「すばらしき文物・大津市指定文化財考古編」、遺跡紹介展「苗鹿遺跡」等、4回の発掘調査展を開催、観覧者1,353人 ・遺跡紹介展「山ノ神遺跡」（令和6年2月5日～5月31日）、入場者136人（2月・3月） ・講座5回、参加者183人 ・現地見学会「近江最古の古墳 壺笠山古墳」、参加者20人	・遺跡紹介展「山ノ神遺跡」・緊急ミニ企画展「坂本城跡」（令和6年2月5日～5月31日）、入場者655人（4月・5月） ・企画展「石のちから」、入場者753人 ・埋蔵文化財成果展「大津 むかし・むか～し」、入場者674人 ・遺跡紹介展「衣川周辺の遺跡」開催予定（令和7年2月3日～5月30日） ・講座「学芸員と歩く紫式部ゆかりの石山寺」、参加者30人 ・わくわくサイエンス、参加者20人 ・サイエンス屋台村、参加者127人 ・夏休みこども考古学くらぶ（ミニ土器作り・勾玉作り・拓本体験）、参加者161人 ・「火起こし名人と火起こし体験」、参加者75人 ・源内峠遺跡現地見学会、参加者41人 ・発掘調査成果報告会、参加者69人 ・遺跡現地見学会「衣川周辺の遺跡を歩く」（令和7年3月4日開催予定）						
25	④-6. 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	歴史博物館	本市の持つ南北に細長い地理的特色を踏まえ、地域に焦点をあてた「テーマ展示」と市域全域の歴史の流れを年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成された常設展示を実施する。また、市内での歴史上の出来事や歴史上の人物などのテーマに基づいた企画展示を開催する。	・企画展5回、観覧者8,312人 ・常設展示（ミニ企画展6回）、観覧者16,019人	企画展5回、観覧者10,355人、	・共催展「湖都大津の災害史」、企画展「発掘された大津の歴史」等4回の企画展を開催、観覧者11,391人 ・常設展示では7回のミニ企画展を開催 ・常設展示室で大河ドラマ「光る君へ」の関連展示として特集展示「源氏物語と大津」を開催（令和6年1月10日～令和7年2月2日）	・特集展示関連企画展「紫式部と祈りの世界」 4,441人 ・夏季企画展「京極高次」 3,664人 ・JR湖西線開業50周年記念特別展「わたしの湖西線」 8,281人 ・秋季企画展「石山寺－密教と観音の聖地－」 5,416人 ・常設展示室において、令和5年度に引き続き、令和7年2月2日までの会期で、大河ドラマ「光る君へ」関連展示として、特集展示「源氏物語と大津」を開催。						
26	④-7. 歴史博物館での資料の調査や収集	歴史博物館	個人や団体が所有する本市の歴史に関する資料について、調査を行い、収蔵品収集審査会の審査のもと資料を収集し、歴史博物館の資料の充実を図る。また、資料に関する研究を行い、その成果を広報する研究紀要を発行する。	・未指定文化財調査8件 ・収蔵品資料、9件購入、9件受贈 ・研究紀要と史料集2冊刊行	・未指定文化財調査36か所58回 ・収蔵品13件購入、1件受贈 ・研究紀要と史料集4冊刊行	・未指定文化財調査を29か所58回を実施。 ・大津の食文化資料調査、大津町絵図、古写真整理公開等のプロジェクトを実施 ・収蔵品8件購入、12件の受贈 ・研究紀要第29号を発刊。	・未指定文化財調査6か所17回 ・大津の食文化資料調査、大津町絵図、古写真整理公開等のプロジェクトを実施。 ・報告書発刊、館蔵品や未指定文化財の修理保存（修復・燻蒸）、文化財3Dスキャナー計測、古文書・歴史資料整理・調査、収蔵庫耐震補強等の事業を実施。 ・収蔵品4件の購入（絵画3件、古文書1件） ・研究紀要第30号を執筆、編纂中である。						
27	④-8. れきはく講座などの開催	歴史博物館	市内の文化財などに関する情報発信を行う「歴博だより」の発行や市民を対象にした「れきはく講座」、小学生などを対象にした「ワークショップ」などを開催する。	・れきはく講座32回開催、参加者1,299人 ・子供向けワークショップ16回開催、参加者201人	・れきはく講座31回開催、参加者1,750人 ・子供向けワークショップ16回開催、参加者244人	・れきはく講座56回開催、参加者2,603人 ・子供向けワークショップは16回開催、参加者222人	・36回の講座等イベントを実施。現地見学1回、ワークショップ3回、スライドトーク2回、ギャラリートーク10回開催、参加者2,156名（申し込み3,592名） ・成安造形大学共催の夏休み子ども向けワークショップは、16回の開催で299人（申し込み739人、抽選で決定） ・歴博だよりは年4回を発行し、読み物風の記事で、展覧会や収蔵品の解説を実施。						